

参考資料

(1) アンケート調査票

内閣府委託調査

就職氷河期世代の中途採用及び職場実習・職場体験等 (社会人インターンシップ)に関する調査

<調査の趣旨等>

※本調査は、就職氷河期世代を含む中途採用やそのツールの1つとしての社会人インターンシップを推進するにあたっての課題や好事例の収集を目的として実施するものです。

※ハローワークの掲載情報等から、中途採用や人材育成に積極的に取り組まれていると考えられる企業等 2,000 社を抽出し、調査協力依頼をさせていただきました。

※本調査により得られた情報は上記の目的以外に使用することはなく、企業名等が特定できる形で集計・公表することはありません。また、個別の企業等が回答内容に基づき不利益を受けることは一切ありませんので、ありのままの状況をお答えください。

<調査の回答に関するお願い>

※回答は、本資料ではなく、下記 URL の Web 回答画面からお願いいたします。

URL : <https://en.surece.co.jp/shukatsu21>

※貴社における中途採用の状況等について、選択肢から回答を選択していただくか、記入欄に回答をお願いいたします。

※回答を始める際に ID 番号とパスワードの入力をお願いしておりますが、こちらは重複回答防止のためや回答状況の把握のためをお願いするものです。なお、ID 番号とパスワードは別紙の「御依頼・御説明書」に記載をしています。

※回答期限は 2021 年 10 月 29 日 (金) までとしております。期日前後にお電話等にて調査のご案内・ご依頼の連絡をさせていただくことがございますが、何卒ご容赦ください。

<二次元コード>

<問い合わせ先>

本調査の目的や内容、データの取扱い、アンケートへの回答の方法等について、ご不明な点等がございましたら、以下までお問い合わせください。

<アンケートの目的や内容等について>

株式会社浜銀総合研究所 地域戦略研究部 (担当: 有海^{ありかい}・石川・秋本)

電話: 045-225-2372 (平日: 9 時~17 時) / Mail: shukatsu-chosa@yokohama-ri.co.jp

<アンケートの回答方法や回答期限について>

株式会社サーベイリサーチセンター (担当: 小坂、水口)

電話: 0120-901-842 (平日: 10 時~12 時、13 時~17 時) / Mail: shukatsu21@surece.co.jp

【記入上の注意】

本調査への回答に当たっては、特に断りがない限り、2021年10月1日時点の状況について、お答えいただくよう、お願いいたします。

1. 貴社の基本的な情報について伺います

問1 貴社の正規雇用の従業員数について教えてください。(数字を記入)

	人
--	---

問2 貴社の業種を教えてください。複数該当する場合は、直近会計年度の売上高（売上高にあたる財務指標がない場合は経常収益など）に占める割合が最も大きい分野を回答してください。（一つを選択）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 農業、林業 | 2. 漁業 |
| 3. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 4. 建設業 |
| 5. 製造業 | 6. 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 7. 情報通信業 | 8. 運輸業、郵便業 |
| 9. 卸売業、小売業 | 10. 金融業、保険業 |
| 11. 不動産業、物品賃貸業 | 12. 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 13. 宿泊業、飲食サービス業 | 14. 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 15. 教育、学習支援業 | 16. 医療・福祉 |
| 17. 複合サービス業 | 18. サービス業（他に分類されないもの） |
| 19. 公務（他に分類されるものを除く） | 20. 分類不能の産業 |
| 21. その他（具体的に： |) |

問3 貴社の本社の所在地の都道府県を教えてください。

--

都・道・府・県

問4 貴社の直近会計年度の売上高（売上高にあたる財務指標がない場合は経常収益など）について、5年前と比較したときの増減を教えてください。（一つを選択）

※設立後5年未満の場合は、設立年と比較してお答えください。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 50%以上の増加 | 2. 20~50%の増加 |
| 3. 5~20%の増加 | 4. マイナス5~5%の間でほぼ横ばい |
| 5. 減少傾向にある | 6. 該当する財務指標がなく回答できない |

問5 貴社の5年後の売上高（売上高にあたる財務指標がない場合は経常収益など）について、現在と比較してどのようになると見込んでいるかについて教えてください。（一つを選択）

- | | | |
|----------------------|------------|----------|
| 1. 大きく拡大する | 2. やや拡大する | 3. ほぼ横ばい |
| 4. やや縮小する | 5. 大きく縮小する | 6. わからない |
| 7. 該当する財務指標がなく回答できない | | |

2. 中途採用の実施状況について伺います

※本調査において、「中途採用」とは学校卒業後に貴社以外で就業（パート・アルバイトも含む）した者を貴社において正規雇用で採用することを指します。いわゆる第二新卒も含めますが、貴社で勤務する非正規雇用労働者（派遣労働者、パート・アルバイトなど）の正規雇用への転換は含めません。

問6 貴社では、過去3年間で中途採用を実施しましたか。（一つを選択）

※募集しているが採用に至っていない場合や、特に募集していないが結果的に採用している場合は、「実施している」とお答えください。

1. 実施している ⇒問7へ

2. 実施していない ⇒問8へ

（問7は、問6で「1. 実施している」とご回答いただいた場合に伺います。）

問7 貴社で、①過去3年間に中途採用した人数と、そのうち②採用時概ね35～49歳だった者の割合、③前職が正規雇用以外だった者の割合について、それぞれ教えてください。（①は数字を記入もしくは「わからない」を選択、②③はそれぞれ一つを選択）

※記録がない場合や、記憶があいまいな場合などは、概ねの人数・割合をお答えください。

① 中途採用した人数 （過去3年間）	（ ）人	わからない
② ①のうち、採用時概ね 35～49歳だった者の割合	1. 0% 3. 33.4%～66.7% 5. 100%	2. 0.1%～33.3% 4. 66.8%～99.9% 6. わからない
③ ①のうち、前職が 正規雇用以外だった者の割合	1. 0% 3. 33.4%～66.7% 5. 100%	2. 0.1%～33.3% 4. 66.8%～99.9% 6. わからない

（全ての企業等に伺います。）

問8 貴社では、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えていますか。（一つを選択）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 考えている | } ⇒問9～11へ |
| 2. 少し考えている | |
| 3. どちらともいえない | ⇒問13又は問19へ |
| 4. あまり考えていない | } ⇒問12へ |
| 5. 考えていない | |

（問9～11は、問8で「1. 考えている」「2. 少し考えている」とご回答いただいた場合に伺います。）

問9 貴社で、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えている理由について、教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

1. 専門分野の知識やスキルを持つ人材の獲得
2. 高度なマネジメント能力や豊富なマネジメント経験を持つ人材の獲得
3. 専門知識やマネジメント能力に関わらず仕事経験豊富な人材の獲得
4. 年齢など人員構成の適正化
5. 組織における人材の多様性の確保
6. 既存事業の拡大や新規事業への進出
7. 退職者や休職者による人員不足の補填
8. 新卒採用だけでは必要な人員が確保できない
9. 新卒採用を実施しておらず、中途採用による人員確保が必要
10. その他(具体的に:)

(問9～11は、問8で「1. 考えている」「2. 少し考えている」とご回答いただいた場合に伺います。)

問10 貴社では、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりするにあたって、どのような課題があると感じていますか。(あてはまるもの全てを選択)

1. 社内の人事・給与制度が中途採用に十分対応していない
2. 社内の教育訓練や研修制度が十分整備されていない
3. 他の業務で忙しく、中途採用の実施又は拡大に人手が割けない
4. 中途採用を企画・実施する能力を持つ人材や体制が不十分
5. 中途採用を実施又は拡大するための費用が捻出できない
6. 中途採用を募集するルート・媒体が十分確保できていない
7. 十分な募集ルート・媒体は確保していると思うが、ニーズに合った人材の応募が足りない
8. その他(具体的に:)
9. 特に課題となるものはない

(問9～11は、問8で「1. 考えている」「2. 少し考えている」とご回答いただいた場合に伺います。)

問11 貴社では、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりするにあたって、行政からどのような支援策があると良いと思いますか。(あてはまるもの全てを選択)

1. キャリアコンサルタントなどの専門家(NPOなどの団体も含む)による支援
2. 中途採用の優良事例の紹介
3. 中途採用の取組やその費用に対する助成
4. 合同説明会などの求職者とのマッチングイベント
5. ハローワークや民間事業者などを活用した職業紹介
6. 女性活躍など雇用管理改善に取り組む企業への認定制度の充実(例:くるみん認定)
7. 求職者の職業能力の見える化(例:ジョブカード)
8. 求職者の能力向上のための職業訓練の提供
9. 求職者のリカレント教育の受講に対する支援
10. 採用活動や採用後の働き方のオンライン化・デジタル化に対する支援
11. その他(具体的に:)
12. 特に期待する行政の支援策はない

(問 14～18 は、問 13 で「4. 社会人インターンシップの実施」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 14 貴社で実施した社会人インターンシップについて、①過去3年間で受け入れた人数と、そのうち②受け入れ時に概ね35～49歳だった参加者の割合、③前職が正規雇用以外だった参加者の割合、④中途採用に至った割合を、それぞれ教えてください。(①は数字を記入もしくは「わからない」を選択、②③④はそれぞれ一つを選択)

※記録がない場合や、記憶があいまいな場合などは、概ねの人数・割合をお答えください。

① 社会人インターンシップを受け入れた人数 (過去3年間)	() 人	わからない
② ①のうち、受け入れ時に概ね35～49歳だった者の割合	1. 0% 3. 33.4%～66.7% 5. 100%	2. 0.1%～33.3% 4. 66.8%～99.9% 6. わからない
③ ①のうち、前職が正規雇用以外だった者の割合	1. 0% 3. 33.4%～66.7% 5. 100%	2. 0.1%～33.3% 4. 66.8%～99.9% 6. わからない
④ ①のうち、中途採用に至った割合	1. 0% 3. 33.4%～66.7% 5. 100%	2. 0.1%～33.3% 4. 66.8%～99.9% 6. わからない

(問 14～18 は、問 13 で「4. 社会人インターンシップの実施」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 15 貴社で実施した社会人インターンシップについて、どのようにして参加者を募集しましたか。(あてはまるもの全てを選択)

1. ハローワークや自治体による個別の紹介	2. NPOなどの非営利団体による個別の紹介
3. マッチングイベント	4. 自社のウェブサイト
5. 求人情報サイト	6. 求人情報誌
7. SNS	8. その他(具体的に:)

(問 14～18 は、問 13 で「4. 社会人インターンシップの実施」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 16 貴社で実施した社会人インターンシップについて、受け入れ期間を教えてください。(一つを選択)

※複数の受け入れプログラムがあるなどして、期間が異なるものが複数ある場合には、最も参加者が多いものをお答えください。

1. 1日	2. 2～3日	3. 4～7日
4. 8～14日	5. 15～31日	6. 32日以上

(問 14~18 は、問 13 で「4. 社会人インターンシップの実施」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 17 貴社で実施した社会人インターンシップについて、実施内容を教えてください。(それぞれ、あてはまるもの一つを選択)

	完全 に 対 面 で 実 施	オ ン ラ イ ン を 活 用 し て 実 施	実 施 し て い な い
A 社会人インターンシップ参加者向けに用意した実習等	1	2	3
B 実際の業務の体験	1	2	3
C 座学による講習	1	2	3
D 社会人インターンシップ参加者との面談・意見交換	1	2	3
E その他(具体的に：)			

(問 14~18 は、問 13 で「4. 社会人インターンシップの実施」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 18 貴社で実施した社会人インターンシップについて、参加者への金銭(日当、手当、交通費など)の支払いの有無を教えてください。(一つを選択)

1. あり	2. なし
-------	-------

(全ての企業等に伺います。)

問 19 貴社では、中途採用の実施にあたって、社会人インターンシップのコストに対する効果を、どのように感じますか。(一つを選択)

※中途採用や、社会人インターンシップの受け入れをしたことがない場合は、仮に実施するとした場合にどう感じるかをお答えください。

1. 効果の方が大きい	}	⇒問 20 左欄、問 21 へ
2. どちらかといえば効果の方が大きい		
3. どちらともいえない ⇒問 23 へ		
4. どちらかといえばコストの方が大きい	}	⇒問 20 右欄へ
5. コストの方が大きい		
6. 自社の業務の内容が社会人インターンシップに馴染まず判断できない		⇒問 23 へ
7. わからない ⇒問 23 へ		

(問 20 は、問 19 で「1. 効果の方が大きい」「2. どちらかといえば効果の方が大きい」「4. どちらかといえばコストの方が大きい」「5. コストの方が大きい」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 20 そのように考える理由を教えてください。

※問 19 で「1. 効果の方が大きい」「2. どちらかといえば効果の方が大きい」とご回答いただいた場合は左の欄、「4. どちらかといえばコストの方が大きい」「5. コストの方が大きい」とご回答いただいた場合は右の欄にそれぞれお答えください。

効果の方が大きいと考える理由 (あてはまるもの全てを選択)	コストの方が大きいと考える理由 (あてはまるもの全てを選択)
<p><u>社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者のことを適切に評価・理解することができる 2. 参加者から自社のことを適切に評価・理解してもらすることができる 3. ニーズに合った人材の中途採用につながる 4. 採用後の定着率が高い 5. 「人材育成に積極的な企業」といった自社の魅力の発信につながる 6. その他 (具体的に：) <p style="text-align: right;">⇒問 21 へ</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施に人手がかかりすぎる 2. 企画するための労力がかかる 3. 費用負担が大きい 4. その他 (具体的に：) <p style="text-align: right;">⇒問 23 へ</p>

(問 21 は、問 19 で「1. 効果の方が大きい」「2. どちらかといえば効果の方が大きい」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 21 社会人インターンシップは 30～40 代で非正規雇用や失業などの状態にある求職者（例えば、「就職氷河期の時代に出社して非正規雇用で働いてきて現在正社員として就職したいと考えている方」、「主婦・育児休業等で長いブランクがある方」など）の中途採用の実施にあたって有効だと思いますか。（一つを選択）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 有効である 2. どちらかといえば有効である 3. どちらともいえない ⇒問 23 へ 4. どちらかといえば有効でない 5. 有効でない 6. わからない ⇒問 23 へ 	} } } }	⇒問 22 左欄へ ⇒問 22 右欄へ
--	------------------	------------------------------------

（問 22 は、問 21 で「1. 有効である」「2. どちらかといえば有効である」「4. どちらかといえば有効でない」「5. 有効でない」とご回答いただいた場合に伺います。）

問 22 そのように考える理由を教えてください。

※問 21 で「1. 有効である」「2. どちらかといえば有効である」とご回答いただいた場合は左の欄、「4. どちらかといえば有効でない」「5. 有効でない」とご回答いただいた場合は右の欄にそれぞれお答えください。

有効であると考え理由 (あてはまるもの全てを選択)	有効でないと考え理由 (あてはまるもの全てを選択)
<p><u>「30～40 代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたって、社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者のことを適切に評価・理解することができる 2. 参加者から自社のことを適切に評価・理解してもらうことができる 3. ニーズに合った人材の中途採用につながる 4. 採用後の定着率が高い 5. 「人材育成に積極的な企業」といった自社の魅力の発信につながる 6. その他 (具体的に：) 	<p><u>「30～40 代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたっては、</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人インターンシップの実施にかかる人手が効果に見合わない 2. 効果的な社会人インターンシップを企画することが難しい 3. 社会人インターンシップの実施にかかる費用が効果に見合わない 4. その他 (具体的に：)

（全ての企業等に伺います。）

問 23 貴社では、社会人インターンシップを今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えていますか。(一つを選択)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 考えている 2. 少し考えている 3. どちらともいえない 4. あまり考えていない 5. 考えていない 	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div>⇒問 24～25 へ</div> </div> <div style="margin-top: 10px;">⇒問 27 へ</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div>⇒問 26 へ</div> </div>
---	---

(問 24～25 は、問 23 で「1. 考えている」「2. 少し考えている」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 24 貴社では、社会人インターンシップを今後新たに実施したり、その規模を拡大したりするにあたって、どのような課題があると感じていますか。(あてはまるもの全てを選択)

1. 他の業務で忙しく、社会人インターンシップの実施又は拡大に人手が割けない
2. 社会人インターンシップを企画・運営する能力を持つ人材や体制が不十分
3. 社会人インターンシップをどのように実施したらよいかわからない
4. 社会人インターンシップを実施又は拡大するための費用が捻出できない
5. 参加者を募集するためのルート・媒体が十分確保できていない
6. 社会人インターンシップにおける情報セキュリティに課題やリスクがある
7. 実習などに携わるにあたって参加者の身体的安全面に課題やリスクがある
8. 新型コロナウイルス感染防止の観点から当面は社会人インターンシップを受け入れることは困難
9. その他(具体的に：)
10. 特に課題となるものはない

(問 24～25 は、問 23 で「1. 考えている」「2. 少し考えている」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 25 貴社では、社会人インターンシップを今後新たに実施したり、その規模を拡大したりするにあたって、行政からどのような支援策があると良いと思いますか。(あてはまるもの全てを選択)

1. 社会人インターンシップの優良事例の紹介
2. 社会人インターンシップのコーディネーターなどの専門家(NPOなどの団体も含む)による支援
3. 社会人インターンシップの実施やその経費に対する助成
4. 社会人インターンシップ参加者へ支払う金銭(日当、手当、交通費など)に対する助成
5. ハローワークなどによる参加者との個別のマッチング支援
6. 合同説明会などの参加者とのマッチングイベント
7. 社会人インターンシップに取り組む企業への認定制度
8. 情報セキュリティ対策への支援
9. 参加者の身体的安全面の課題やリスクに対する支援
10. その他(具体的に：)
11. 特に期待する行政の支援策はない

(問 26 は、問 23 で「4. あまり考えていない」「5. 考えていない」とご回答いただいた場合に伺います。)

問 26 貴社で、社会人インターンシップを今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えていない理由について、教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 他の業務で忙しく、社会人インターンシップの実施又は拡大に人手が割けない2. 社会人インターンシップを企画・運営する能力を持つ人材や体制が不十分3. 社会人インターンシップをどのように実施したらよいかわからない4. 社会人インターンシップを実施又は拡大するための費用が捻出できない5. 参加者を募集するためのルート・媒体が十分確保できていない6. 社会人インターンシップにおける情報セキュリティに課題やリスクがある7. 実習などに携わるにあたって参加者の身体的安全面に課題やリスクがある8. 新型コロナウイルス感染防止の観点から当面は社会人インターンシップを受け入れることは困難9. そもそも自社の業務の内容が社会人インターンシップに馴染まない10. 中途採用の実施又は拡大を予定していないため、社会人インターンシップも実施又は拡大する必要がない11. その他(具体的に：) |
|--|

4. 最後に、企業ヒアリング調査への協力の可否について伺います

(全ての企業等に伺います。)

問 27 本調査研究では、就職氷河期世代を含む中途採用や社会人インターンシップを促進するための啓発ツールとして「取組事例集」の作成を予定しており、掲載事例の収集のため、本アンケート調査の御回答についてより詳細にお伺いする企業ヒアリング調査(対面又はオンラインで2時間以内を想定)の実施を予定しております。

貴社は、企業ヒアリング調査にご協力いただくことは可能ですか。(一つを選択)

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 協力できる ⇒★の欄もご回答ください | 2. 協力できない |
|-----------------------|-----------|

★ご協力いただける場合は、下欄にご連絡先をご記入いただきますようお願いいたします。

※いただいたご連絡先は、企業ヒアリング調査を依頼する目的でのみ使用します。

※なお、都合により、ご記入いただいても必ずしも企業ヒアリング調査を依頼するとは限らない旨、ご容赦ください。

ご担当者名(所属部署)	
ご連絡先	TEL : Mail :

アンケート調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

(2) アンケート集計表

単純集計表

本調査への回答に当たっては、特に断りがない限り、2021年10月1日時点の状況について、お答えいただくよう、お願いいたします。

1. 貴社の基本的な情報について伺います

Q1 貴社の正規雇用の従業員数について教えてください。

	件数	割合 n=822
10人以下	85	10.3
11～50人	364	44.3
51～100人	174	21.2
101～150人	61	7.4
151～200人	42	5.1
201人以上	96	11.7
全体	822	100.0

Q2 貴社の業種を教えてください。複数該当する場合は、直近会計年度の売上高(売上高にあたる財務指標がない場合は経常収益など)に占める割合が最も大きい分野を回答してください。(一つを選択)

	件数	割合 n=822
農業、林業	2	0.2
漁業	0	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.1
建設業	162	19.7
製造業	205	24.9
電気・ガス・熱供給・水道業	9	1.1
情報通信業	73	8.9
運輸業、郵便業	24	2.9
卸売業、小売業	66	8.0
金融業、保険業	14	1.7
不動産業、物品賃貸業	5	0.6
学術研究、専門・技術サービス業	31	3.8
宿泊業、飲食サービス業	5	0.6
生活関連サービス業、娯楽業	7	0.9
教育、学習支援業	3	0.4
医療・福祉	144	17.5
複合サービス業	2	0.2
サービス業(他に分類されないもの)	48	5.8
公務(他に分類されるものを除く)	0	0.0
分類不能の産業	0	0.0
その他	21	2.6
全体	822	100.0

単純集計表

Q3 貴社の本社の所在地の都道府県を教えてください。

	件数	割合 n=822
北海道	19	2.3
青森県	17	2.1
岩手県	16	1.9
宮城県	18	2.2
秋田県	18	2.2
山形県	18	2.2
福島県	40	4.9
茨城県	14	1.7
栃木県	18	2.2
群馬県	22	2.7
埼玉県	21	2.6
千葉県	21	2.6
東京都	84	10.2
神奈川県	21	2.6
新潟県	32	3.9
富山県	17	2.1
石川県	14	1.7
福井県	13	1.6
山梨県	2	0.2
長野県	23	2.8
岐阜県	19	2.3
静岡県	17	2.1
愛知県	41	5.0
三重県	14	1.7
滋賀県	11	1.3
京都府	19	2.3
大阪府	31	3.8
兵庫県	11	1.3
奈良県	10	1.2
和歌山県	8	1.0
鳥取県	3	0.4
島根県	14	1.7
岡山県	19	2.3
広島県	24	2.9
山口県	11	1.3
徳島県	9	1.1
香川県	6	0.7
愛媛県	7	0.9
高知県	10	1.2
福岡県	10	1.2
佐賀県	6	0.7
長崎県	10	1.2
熊本県	7	0.9
大分県	17	2.1
宮崎県	10	1.2
鹿児島県	18	2.2
沖縄県	12	1.5
海外	0	0.0
全体	822	100.0

単純集計表

Q4 貴社の直近会計年度の売上高(売上高にあたる財務指標がない場合は経常収益など)について、5年前と比較したときの増減を教えてください。(一つを選択)

※設立後5年未満の場合は、設立年と比較してお考えください。

	件数	割合 n=822
50%以上の増加	58	7.1
20～50%の増加	126	15.3
5～20%の増加	221	26.9
マイナス5～5%の間でほぼ横ばい	194	23.6
減少傾向にある	201	24.5
該当する財務指標がなく回答できない	22	2.7
全体	822	100.0

Q5 貴社の5年後の売上高(売上高にあたる財務指標がない場合は経常収益など)について、現在と比較してどのようになると見込んでいるかについて教えてください。(一つを選択)

	件数	割合 n=822
大きく拡大する	53	6.4
やや拡大する	318	38.7
ほぼ横ばい	238	29.0
やや縮小する	102	12.4
大きく縮小する	13	1.6
わからない	86	10.5
該当する財務指標がなく回答できない	12	1.5
全体	822	100.0

2. 中途採用の実施状況について伺います

※本調査において、「中途採用」とは学校卒業後に貴社以外で就業(パート・アルバイトも含む)した者を貴社において正規雇用で採用することを指します。いわゆる第二新卒も含めますが、貴社で勤務する非正規雇用労働者(派遣労働者、パート・アルバイトなど)の正規雇用への転換は含めません。

Q6 貴社では、過去3年間で中途採用を実施しましたか。(一つを選択)

※募集しているが採用に至っていない場合や、特に募集していないが結果的に採用している場合は、「実施している」とお答えください。

	件数	割合 n=822
実施している	789	96.0
実施していない	33	4.0
全体	822	100.0

【Q6で『1.実施している』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q7 貴社で、① 過去3年間に中途採用した人数と、そのうち② 採用時概ね35～49歳だった者の割合、③ 前職が正規雇用以外だった者の割合について、それぞれ教えてください。

※記録がない場合や、記憶があいまいな場合などは、概ねの人数・割合をお答えください。

Q7-① 貴社で、過去3年間に中途採用した人数を教えてください。

	件数	割合 n=789
0人	24	3.0
1～5人	330	41.8
6～10人	159	20.2
11～15人	67	8.5
16～20人	38	4.8
21人以上	129	16.3
わからない	42	5.3
全体	789	100.0

単純集計表

Q7_② ①のうち、採用時概ね35～49歳だった者の割合を教えてください。(一つを選択)

	件数	割合 n=765
0%	140	18.3
0.1%～33.3%	261	34.1
33.4%～66.7%	230	30.1
66.8%～99.9%	63	8.2
100%	41	5.4
わからない	30	3.9
全体	765	100.0

Q7_③ ①のうち、前職が正規雇用以外だった者の割合について教えてください。(一つを選択)

	件数	割合 n=765
0%	199	26.0
0.1%～33.3%	203	26.5
33.4%～66.7%	120	15.7
66.8%～99.9%	55	7.2
100%	42	5.5
わからない	145	19.0
無回答	1	0.1
全体	765	100.0

【全ての企業等に伺います。】

Q8 貴社では、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えていますか。(一つを選択)

	件数	割合 n=822
考えている	473	57.5
少し考えている	134	16.3
どちらともいえない	153	18.6
あまり考えていない	41	5.0
考えていない	20	2.4
無回答	1	0.1
全体	822	100.0

【Q8で『1.考えている』『2.少し考えている』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q9 貴社で、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えている理由について、教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=607
専門分野の知識やスキルを持つ人材の獲得	399	65.7
高度なマネジメント能力や豊富なマネジメント経験を持つ人材の獲得	146	24.1
専門知識やマネジメント能力に関わらず仕事経験豊富な人材の獲得	169	27.8
年齢など人員構成の適正化	242	39.9
組織における人材の多様性の確保	179	29.5
既存事業の拡大や新規事業への進出	218	35.9
退職者や休職者による人員不足の補填	341	56.2
新卒採用だけでは必要な人員が確保できない	289	47.6
新卒採用を実施しておらず、中途採用による人員確保が必要	48	7.9
その他	10	1.6
全体	607	-

単純集計表

【Q8で『1.考えている』『2.少し考えている』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q10 貴社では、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりするにあたって、どのような課題があると感じていますか。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=607
社内の人事・給与制度が中途採用に十分対応していない	132	21.7
社内の教育訓練や研修制度が十分整備されていない	152	25.0
他の業務で忙しく、中途採用の実施又は拡大に人手が割けない	76	12.5
中途採用を企画・実施する能力を持つ人材や体制が不十分	93	15.3
中途採用を実施又は拡大するための費用が捻出できない	82	13.5
中途採用を募集するルート・媒体が十分確保できていない	132	21.7
十分な募集ルート・媒体は確保していると思うが、ニーズに合った人材の応募が足りない	325	53.5
その他	27	4.4
特に課題となるものはない	63	10.4
全体	607	-

【Q8で『1.考えている』『2.少し考えている』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q11 貴社では、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりするにあたって、行政からどのような支援策があると良いと思いますか。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=607
キャリアコンサルタントなどの専門家(NPOなどの団体も含む)による支援	63	10.4
中途採用の優良事例の紹介	89	14.7
中途採用の取組やその費用に対する助成	344	56.7
合同説明会などの求職者とのマッチングイベント	282	46.5
ハローワークや民間事業者などを活用した職業紹介	337	55.5
女性活躍など雇用管理改善に取り組む企業への認定制度の充実(例:くるみん認定)	67	11.0
求職者の職業能力の見える化(例:ジョブカード)	159	26.2
求職者の能力向上のための職業訓練の提供	98	16.1
求職者のリカレント教育の受講に対する支援	39	6.4
採用活動や採用後の働き方のオンライン化・デジタル化に対する支援	92	15.2
その他	22	3.6
特に期待する行政の支援策はない	36	5.9
全体	607	-

【Q8で『4.あまり考えていない』『5.考えていない』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q12 貴社で、中途採用を今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えていない理由について、教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=61
社内の人事・給与制度が中途採用に十分対応していない	3	4.9
新卒中心の採用方針であり中途採用を実施又は拡大する考えはない	33	54.1
他の業務で忙しく、中途採用の実施又は拡大に人手が割けない	2	3.3
中途採用を企画・実施する能力を持つ人材や体制が不十分	1	1.6
中途採用を実施又は拡大するための費用が捻出できない	3	4.9
中途採用を募集するルート・媒体が十分確保できていない	0	0.0
十分な募集ルート・媒体は確保していると思うが、ニーズに合った人材の応募が足りない	13	21.3
必要な人員は確保できており、中途採用を実施又は拡大する必要がない	17	27.9
その他	6	9.8
全体	61	-

単純集計表

3. 中途採用を実施する上での取組としての社会人インターンシップの実施状況について伺います

※本調査において、「社会人インターンシップ」とは中途採用に向けた活動の一環として、学生以外を対象に企業等において就業体験(例えば、社員の指導を受けながら数日間以上、実際の業務を体験することなど)を行うものを指します。ただし、単なる職場見学のみにとどまるものやトライアル雇用(常用雇用への移行を念頭に求職者を3か月以内の有期で試用雇用するもの)は除きます。

【Q6で『1.実施している』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q13 過去3年間、貴社で中途採用を実施するうえで、工夫していることや取り組んでいることがあれば、教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=789
募集時における職務内容の明確化	524	66.4
多様な正社員制度の導入	109	13.8
職場見学の実施	408	51.7
社会人インターンシップの実施	58	7.4
トライアル雇用の実施	168	21.3
カムバック制度・キャリアリターン制度(学業・転職等による理由で退職した社員に再雇用の道を開く仕組み)の導入	57	7.2
育児・介護支援制度等の利活用のしやすさの紹介	245	31.1
兼業・副業の容認	76	9.6
選考段階における入社後に上司・同僚になる社員の紹介	128	16.2
転職者が不利にならないような制度(休暇の取得、昇格ルールなど)の工夫	167	21.2
社内での中途採用に対する理解の促進	154	19.5
その他	25	3.2
特になし	70	8.9
全体	789	-

【Q13で『4.社会人インターンシップの実施』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q14 貴社で実施した社会人インターンシップについて、① 過去3年間で受け入れた人数と、そのうち② 受け入れ時に概ね35～49歳だった参加者の割合、③ 前職が正規雇用以外だった参加者の割合、④ 中途採用に至った割合を、それぞれ教えてください。

Q14 ① 過去3年間で受け入れた人数を教えてください。

	件数	割合 n=58
0人	13	22.4
1人	10	17.2
2人	7	12.1
3人	3	5.2
4人	1	1.7
5人	4	6.9
6人以上	12	20.7
わからない	8	13.8
全体	58	100.0

Q14 ② ①のうち、受け入れ時に概ね35～49歳だった者の割合を教えてください。(一つを選択)

	件数	割合 n=45
0%	13	28.9
0.1%～33.3%	10	22.2
33.4%～66.7%	8	17.8
66.8%～99.9%	3	6.7
100%	5	11.1
わからない	6	13.3
全体	45	100.0

単純集計表

Q14_③ ①のうち、前職が正規雇用以外だった者の割合を教えてください。(一つを選択)

	件数	割合 n=45
0%	14	31.1
0.1%～33.3%	6	13.3
33.4%～66.7%	2	4.4
66.8%～99.9%	2	4.4
100%	10	22.2
わからない	11	24.4
全体	45	100.0

Q14_④ ①のうち、中途採用に至った割合を教えてください。(一つを選択)

	件数	割合 n=45
0%	6	13.3
0.1%～33.3%	8	17.8
33.4%～66.7%	10	22.2
66.8%～99.9%	4	8.9
100%	11	24.4
わからない	6	13.3
全体	45	100.0

【Q13で『4.社会人インターンシップの実施』 とご回答いただいた場合に伺います。】

Q15 貴社で実施した社会人インターンシップについて、どのようにして参加者を募集しましたか。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=58
ハローワークや自治体による個別の紹介	44	75.9
NPOなどの非営利団体による個別の紹介	6	10.3
マッチングイベント	7	12.1
自社のウェブサイト	16	27.6
求人情報サイト	11	19.0
求人情報誌	4	6.9
SNS	2	3.4
その他	11	19.0
全体	58	-

【Q13で『4.社会人インターンシップの実施』 とご回答いただいた場合に伺います。】

Q16 貴社で実施した社会人インターンシップについて、受け入れ期間を教えてください。(一つを選択)

※複数の受け入れプログラムがあるなどして、期間が異なるものが複数ある場合には、最も参加者が多いものをお答えください。

	件数	割合 n=58
1日	14	24.1
2～3日	25	43.1
4～7日	6	10.3
8～14日	4	6.9
15～31日	6	10.3
32日以上	3	5.2
全体	58	100.0

単純集計表

【Q13で『4.社会人インターンシップの実施』 とご回答いただいた場合に伺います。】

Q17 貴社で実施した社会人インターンシップについて、実施内容を教えてください。(それぞれ、あてはまるもの一つを選択)

Q17.1 社会人インターンシップ参加者向けに用意した実習等

	件数	割合 n=58
完全に対面で実施	36	62.1
オンラインを活用して実施	3	5.2
実施していない	19	32.8
全体	58	100.0

Q17.2 実際の業務の体験

	件数	割合 n=58
完全に対面で実施	45	77.6
オンラインを活用して実施	2	3.4
実施していない	11	19.0
全体	58	100.0

Q17.3 座学による講習

	件数	割合 n=58
完全に対面で実施	25	43.1
オンラインを活用して実施	2	3.4
実施していない	31	53.4
全体	58	100.0

Q17.4 社会人インターンシップ参加者との面談・意見交換

	件数	割合 n=58
完全に対面で実施	31	53.4
オンラインを活用して実施	5	8.6
実施していない	22	37.9
全体	58	100.0

【Q13で『4.社会人インターンシップの実施』 とご回答いただいた場合に伺います。】

Q18 貴社で実施した社会人インターンシップについて、参加者への金銭(日当、手当、交通費など)の支払いの有無を教えてください。(一つを選択)

	件数	割合 n=58
あり	13	22.4
なし	45	77.6
全体	58	100.0

単純集計表

【全ての企業等に伺います。】

Q19 貴社では、中途採用の実施にあたって、社会人インターンシップのコストに対する効果を、どのように感じますか。(一つを選択)

※中途採用や、社会人インターンシップの受け入れをしたことがない場合は、仮に実施するとした場合にどう感じるかをお答えください。

	件数	割合 n=822
効果の方が大きい	42	5.1
どちらかといえば効果の方が大きい	126	15.3
どちらともいえない	235	28.6
どちらかといえばコストの方が大きい	99	12.0
コストの方が大きい	56	6.8
自社の業務の内容が社会人インターンシップに馴染まず判断できない	122	14.8
わからない	142	17.3
全体	822	100.0

【Q19で『1.効果の方が大きい』『2.どちらかといえば効果の方が大きい』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q20.1 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=168
社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、参加者のことを適切に評価・理解することができる	118	70.2
社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、参加者から自社のことを適切に評価・理解してもらっている	132	78.6
社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、ニーズに合った人材の中途採用につながる	107	63.7
社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、採用後の定着率が高い	61	36.3
社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、「人材育成に積極的な企業」といった自社の魅力の発信につながる	42	25.0
その他	1	0.6
全体	168	-

【Q19で『4.どちらかといえばコストの方が大きい』『5.コストの方が大きい』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q20.2 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=155
実施に人手がかかりすぎる	113	72.9
企画するための労力がかかる	108	69.7
費用負担が大きい	38	24.5
その他	17	11.0
全体	155	-

【Q19で『1.効果の方が大きい』『2.どちらかといえば効果の方が大きい』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q21 社会人インターンシップは30～40代で非正規雇用や失業などの状態にある求職者(例えば、「就職氷河期の時代に社会に出て非正規雇用で働いてきて現在正社員として就職したいと考えている方」、「主婦・育児休業等で長いブランクがある方」など)の中途採用の実施にあたって有効だと思いますか。(一つを選択)

	件数	割合 n=168
有効である	59	35.1
どちらかといえば有効である	78	46.4
どちらともいえない	24	14.3
どちらかといえば有効でない	4	2.4
有効でない	0	0.0
わからない	3	1.8
全体	168	100.0

単純集計表

【Q21で『1.有効である』『2.どちらかといえば有効である』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q22.1 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=137
「30～40代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたって、社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、参加者のことを適切に評価・理解することができる	104	75.9
「30～40代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたって、社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、参加者から自社のことを適切に評価・理解してもらうことができる	109	79.6
「30～40代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたって、社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、ニーズに合った人材の中途採用につながる	88	64.2
「30～40代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたって、社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、採用後の定着率が高い	44	32.1
「30～40代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたって、社会人インターンシップは一般的な採用方法と比べて、「人材育成に積極的な企業」といった自社の魅力の発信につながる	32	23.4
その他	1	0.7
全体	137	-

【Q21で『4.どちらかといえば有効でない』『5.有効でない』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q22.2 そのように考える理由を教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=4
「30～40代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたっては、社会人インターンシップの実施にかかる人手が効果に見合わない	2	50.0
「30～40代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたっては、効果的な社会人インターンシップを企画することが難しい	2	50.0
「30～40代で非正規雇用や失業の状態にある求職者」の中途採用にあたっては、社会人インターンシップの実施にかかる費用が効果に見合わない	1	25.0
その他	0	0.0
全体	4	-

【全ての企業等に伺います。】

Q23 貴社では、社会人インターンシップを今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えていますか。(一つを選択)

	件数	割合 n=822
考えている	69	8.4
少し考えている	133	16.2
どちらともいえない	239	29.1
あまり考えていない	164	20.0
考えていない	217	26.4
全体	822	100.0

単純集計表

【Q23で『1.考えている』『2.少し考えている』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q24 貴社では、社会人インターンシップを今後新たに実施したり、その規模を拡大したりするにあたって、どのような課題があると感じていますか。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=202
他の業務で忙しく、社会人インターンシップの実施又は拡大に人手が割けない	69	34.2
社会人インターンシップを企画・運営する能力を持つ人材や体制が不十分	84	41.6
社会人インターンシップをどのように実施したらよいかわからない	71	35.1
社会人インターンシップを実施又は拡大するための費用が捻出できない	29	14.4
参加者を募集するためのルート・媒体が十分確保できていない	93	46.0
社会人インターンシップにおける情報セキュリティに課題やリスクがある	35	17.3
実習などに携わるにあたって参加者の身体の安全面に課題やリスクがある	39	19.3
新型コロナウイルス感染防止の観点から当面は社会人インターンシップを受け入れることは困難	33	16.3
その他	8	4.0
特に課題となるものはない	16	7.9
全体	202	-

【Q23で『1.考えている』『2.少し考えている』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q25 貴社では、社会人インターンシップを今後新たに実施したり、その規模を拡大したりするにあたって、行政からどのような支援策があると良いと思いますか。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=202
社会人インターンシップの優良事例の紹介	74	36.6
社会人インターンシップのコーディネーターなどの専門家(NPOなどの団体も含む)による支援	60	29.7
社会人インターンシップの実施やその経費に対する助成	130	64.4
社会人インターンシップ参加者へ支払う金銭(日当、手当、交通費など)に対する助成	122	60.4
ハローワークなどによる参加者との個別のマッチング支援	137	67.8
合同説明会などの参加者とのマッチングイベント	99	49.0
社会人インターンシップに取り組む企業への認定制度	65	32.2
情報セキュリティ対策への支援	31	15.3
参加者の身体の安全面の課題やリスクに対する支援	39	19.3
その他	2	1.0
特に期待する行政の支援策はない	4	2.0
全体	202	-

単純集計表

【Q23で『4.あまり考えていない』『5.考えていない』とご回答いただいた場合に伺います。】

Q26 貴社で、社会人インターンシップを今後新たに実施したり、その規模を拡大したりすることを考えていない理由について、教えてください。(あてはまるもの全てを選択)

	件数	割合 n=381
他の業務で忙しく、社会人インターンシップの実施又は拡大に人手が割けない	169	44.4
社会人インターンシップを企画・運営する能力を持つ人材や体制が不十分	104	27.3
社会人インターンシップをどのように実施したらよいかわからない	83	21.8
社会人インターンシップを実施又は拡大するための費用が捻出できない	49	12.9
参加者を募集するためのルート・媒体が十分確保できていない	45	11.8
社会人インターンシップにおける情報セキュリティに課題やリスクがある	89	23.4
実習などに携わるにあたって参加者の身体の安全面に課題やリスクがある	44	11.5
新型コロナウイルス感染防止の観点から当面は社会人インターンシップを受け入れることは困難	52	13.6
そもそも自社の業務の内容が社会人インターンシップに馴染まない	131	34.4
中途採用の実施又は拡大を予定していないため、社会人インターンシップも実施又は拡大する必要がない	38	10.0
その他	27	7.1
全体	381	-

4. 最後に、企業ヒアリング調査への協力の可否について伺います

【全ての企業等に伺います。】

Q27 本調査研究では、就職氷河期世代を含む中途採用や社会人インターンシップを促進するための啓発ツールとして「取組事例集」の作成を予定しており、掲載事例の収集のため、本アンケート調査の御回答についてより詳細にお伺いする企業ヒアリング調査(対面又はオンラインで2時間以内を想定)の実施を予定しております。貴社は、企業ヒアリング調査にご協力いただくことは可能ですか。(一つを選択)

	件数	割合 n=822
協力できる	143	17.4
協力できない	679	82.6
全体	822	100.0